

（每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十四日發行）

# 縣報

第四百十三號

明治卅八年三月六日

## 和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第七號

明治三十三年十二月和歌山縣令第八十六號小學校令施行細則左ノ通ニ改正ス

明治三十八年三月二日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 敬

小學校令施行細則

- 第一章 設置及廢止
- 第二章 教科及編制
- 第三章 設備
- 第四章 就學
- 第五章 教員檢定及免許狀
- 第六章 職員第一節 學校長及職員ノ進退
- 第一節 學校長及職員ノ進退
- 第二節 學校長及職員ノ職務及服務
- 第三節 俸給旅費及諸給與
- 第四節 代用教員
- 第五節 授業料
- 第七節 授業料

縣報第四百十三號

明治三十八年三月六日

第三種郵便物認可

### 第八章

私立小學校及幼稚園盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校

### 第九章

附則

#### 第一章 設置及廢止

第一條 郡長ニ於テ町村立尋常小學校（分教場ヲ含ム）ノ校數並位置ノ認可ヲ受ケントスル

トキハ左ノ事項ヲ具スヘシ但校地増減ノ場合ハ第一號ノ事項ヲ具スルヲ要セス

#### 一、學校位置區域圖

圖面ハ町村大字、學校位置、通學路程、方位、道路、鐵道、山川、湖海、橋梁等ヲ

記載シ難路ハ符號ヲ付スヘシ

#### 二、學校位置明細圖

圖面ハ字、地番、地目、反別、地質、高低、方位、廣表及四隣ノ狀況ヲ記載スヘシ

三、各大字ノ戶數、人口、學齡兒童數及其卒業並在學兒童數

四、町村又ハ町村學校組合ノ意見書寫

第二條 令第十條及第十四條第四項ニ依リ郡長ニ於テ町村學校組合ヲ設ケ又ハ兒童教育事

務ヲ委托セシメントスル場合ニ於テ認可又ハ指揮ヲ受ケントスルハ前條第一號乃至第

三號ノ事項ヲ具シ第十條ノ場合ニアリテハ關係町村、町村學校組合及區ノ意見書寫第十

四條第四項ノ場合ニアリテハ町村學校組合規約書寫ヲ添付スヘシ但町村學校組合ヲ解キ

又ハ兒童教育事務委托ヲ止メシメントスル場合ハ其ノ理由ヲ詳具スヘシ

第三條 令第十一條第二項及第五十二條第二項ニ依リ郡長ニ於テ小學校ノ指定又ハ費用負

担ニ關シ認可ヲ受ケントスルトキハ關係町村、町村學校組合、及區ノ意見書寫ヲ添付ス

第四條 郡長ニ於テ令第十二條ノ必要ヲ認ムルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ左記調書ヲ添ヘ知事ニ申告スヘシ

一、町村若ハ町村學校組合見取圖

免除ヲ要スル地ヲ明コシ各字又ハ町村トノ距離、方位、道路、山川、湖海、橋梁等ヲ記載スヘシ

二、各大字ノ戸數、人口、學齡兒童數及其ノ卒業並在學兒童數

第五條 令第十五條ニ依リ高等小學校(分設場ヲ含ム)ノ設置又ハ廢止ノ認可ヲ受ケントスルトキハ設置ニツキテハ左ノ第一號乃至第五號ヲ添付シ廢止ニツキテハ閉鎖期日並在學兒童ノ處分方ヲ定メ其理由ヲ詳具スヘシ

一、修業年限

二、入學兒童數及學級數

三、校舍平面圖

四、第一條第一號乃至第三號ノ事項

五、當該年度歲出歲入豫算表

第六條 市町村立尋常小學校ノ校數並位置ノ指定ヲ受ケタルトキ又ハ高等小學校設置ノ認可ヲ受ケタルトキハ市町村又ハ町村學校組合管理者ニ於テ遲滞ナク左ノ事項ヲ知事ニ届

出ツヘシ

一、名 稱

一、開校年月日

第七條 市町村立尋常小學校ノ校數並位置ノ變更指定ニ因リ廢止セラルヘキ學校ハ新設學校開校ノ日ヲ以テ閉鎖スヘシ

第二章 教科及編制

第八條 令第二十三條第一項ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ隨意科、必須科ノ區別ヲ記載シ尚規則第十七條第二項及第十八條第二項第三項ニ依リ學校長ニ於テ定メタル各教科目ノ每週教授時數表(規則第四號表ノ例ニ準ス)ヲ添付スヘシ

隨意科目ハ最下學年ノ初メヨリ之ヲ修メシメ中途ニテ廢止セシムルコトヲ得ス  
補習科ノ隨意科目ニ關シテハ前項ヲ適用ス

第九條 規則第十七條第一項及第二十條ニ依リ教授時數ヲ減シタルトキハ學校長ニ於テ週滯ナク監督官應ニ届出ツヘシ但規則第二十條ノ場合ハ各教科目ノ每週教授時數表(規則第四號表ノ例ニ準ス)ヲ添付スヘシ

第十條 規則第二十三條ニ依リ兒童平素ノ成績ヲ考査スルニハ左ノ標準ニ依ルヘシ

一、平素ノ學業及操行ヲ調査シ每學期末之ヲ考査シテ其ノ學期ノ成績ヲ定メ各學期ノ成績ヲ平均シテ學年成績ヲ定ム

二、成績ハ点数ヲ以テ之ヲ表シ各教科目十點ヲ以テ定點トス但兒童ニ發表スル場合ニ於

テハ左ノ評語ヲ用フルモノトス

最良、 良、 可、 稍可、 不可

三、學年成績ニ於テ各科目四點以上平均六點以上ヲ得タルモノヲ以テ合格トス  
成績考查簿ハ第一號表ニ依ルヘシ  
操行ハ前第二號但書ノ評語ヲ以テ評定スルモノトス

成績考查ニ關スル細目ハ學校長之ヲ定ムヘシ

第十一條 規則第二十四條ニ依リ授與スル卒業證書及學習證書ハ第一號乃至第三號書式ニ依ルヘシ

第十二條 小學校ノ學期ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一學期 四月一日ニ始マリ七月三十一日ニ終ル

第二學期 八月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三學期 一月一日ニ始マリ三月三十一日ニ終ル

第十三條 小學校毎日ノ教授終始ノ時刻ヲ定ムルコト左ノ如シ

始業 終業

自四月一日 午前九時 午後三時

自五月一日 午前八時 午後二時

自六月三十日 午前八時 午後二時

自七月一日 午前七時 正午十二時

自八月三十一日 午前七時 正午十二時

自九月一日 午前八時 午後二時

自十月三十一日 午前八時 午後二時

自十一月一日 午前九時 午後三時

自十二月三十一日 午前九時 午後三時

但都市ノ狀況ニ依リ知事ノ認可ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得

第十四條 小學校ノ休業日及休業日數ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、學校所在地産土神祭日 毎年一日

一、學校設立紀念日 毎年一日

一、招魂祭日 毎年一日

一、夏期休業 自八月七日至八月三十一日 廿五日間

一、冬期休業 自十二月廿六日至一月六日 十二日間

一、學年末休業 自三月二十七日至三月三十一日 五日間

臨時休業ヲナレ又ハ夏期休業ヲ變更セントスルトキハ學校長ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受

クヘシ

教員疾病又ハ私事ノ故障ニ因リテ缺勤セル爲臨時休業ヲナストキハ學校長ニ於テ選補ナ

ヲ監督官廳ニ届出ツヘシ

第十五條 規則第二十八條ニ依リ小學校ニ於テ行フヘキ儀式ニハ市町村吏員、學務委員、市

町村會議員及兒童保護者等ヲ參列セシメ左ノ次第ニ依リ之ヲ行フヘシ

一、職員及兒童入場

二、市町村吏員、學務委員、市町村會議員、兒童保護者等入場

三、御影掲帳 此ノ時一同最敬禮

四、一同「君が代」合唱

五、御影ニ對シ率リ一同最敬禮ヲ行フ

六、勸語奉讀

七、職員及兒童當日ノ唱歌合唱

八、御影垂帳 此時一同最敬禮

九、學校長海告

十、市町村吏員、學務委員、市町村會議員、兒童保護者等退場

十一、職員兒童退場

參列者ハ相當ノ禮服ヲ着用スヘシ但フロックコート、又ハ羽織袴ヲ代用スルコトヲ得

第十六條 規則第四十條及第十八條ノ二ニ依リ二部教授ニ關シ認可ヲ受ケントスルトキハ

規則第三十四條ノ事由及左ノ事項ヲ具スヘシ

一、二部三分ツヘキ各學年ノ男女兒童數及教員ノ配置

二、各教科目ノ每週教授時數表及各部毎日ノ教授時數并其ノ終始時刻

第十七條 規則第四十一條ニ依リ學級ノ編制又ハ變更ヲ届出ツルニハ第二號表ニ依ルヘシ

規則第四十條ニ依リ正教科ノ兒童ト補習科ノ兒童トヲ合シテ學級ヲ編制スルノ認可ヲ受

ケントスルトキハ學級編制表(第二號表)ヲ添付スヘシ

第十八條 令第二十三條第二項ニ依リ補習科設置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ規則第五十

二條ニ依リ左ノ事項ヲ併セ具申スヘシ

一、教科目及其ノ必須隨意ノ區別

二、修業年限

三、教授日及教授時間

四、教授ノ程度及各教科目ノ每週教授時數表(規則第四號表ノ例ニ準ス)

五、學級編制及教員ノ配置

六、正教科教授時間内外ノ區別

七、教場ヲ校舍外ニ設ケルトキハ本則第三十一條第一號乃至第三號ノ事項

第十九條 規則第五十二條ニ依リ補習科ノ教科用圖書ニ關シ認可ヲ受ケントスルトキハ其

書名、種類、冊數、發行年月日、著作者氏名、學年配當卷冊ヲ具スヘシ

第三章

設

備

第二十條 校地ハ學校ノ規模ニ適シ道徳上並衛生上害ナク且兒童ノ通學ニ便利ナル場所ヲ  
選フヘシ

第二十一條 体操場ハ分チテ屋外体操場及屋内体操場トシ屋外体操場ハ方形若ハ長方形ニシテ其面積ハ左ノ標準ニ依リ學校ノ規模ニ適應セシメノコトヲ要ス

一、尋常小學校ニ於テハ兒童百人未滿ハ百坪以上尋常高等小學校及高等小學校ニ於テハ兒童百人未滿ハ百五十坪以上トシ兒童百人以上ハ一人ニ付各一坪以上ノ割合トス

二、特別ノ事情アルトキハ前項ノ標準ニ依ラザルコトヲ得

屋内体操場ハ土地狀況ニ依リ之ヲ設ケサルコトヲ得

第二十二條 校地内ニハ善良ナル飲料水ヲ供給スルノ備チナシ又下水渠ヲ設ケハシ

校地ノ周圍ニハ籬柵ヲ設ケヘシ

第二十三條 校舍ハ授業上、管理上、衛生上適當ニシテ堅固堅牢ナラシメテ要ス

校舎ハ特別ノ事情アル場合ヲ除ク外、平屋造トナスヘシ

二棟以上ノ建物ヲ並列シテ建築スルトキハ其ノ相互ノ距離ハ少クモ建物ノ高サト同尺以上ナルヲ要ス

第二十四條 校舎ニハ各學級ニ應スル通常教室、教員室、物置ヲ設ケヘシ

御影ヲ拜戴シ又ハ複製ノ御影ヲ奉置セル學校ニ於テハ清淨ニシテ危險ナラザル場所ニ奉安所ヲ設ケル外、宿直室ヲモ備フヘシ

勅語謄本ノ奉置所モ亦前項ニ準ス

唱歌、裁縫、手工等ヲ課スル學校ニ於テハ便宜特別教室ヲ設ケ又必要ナル場合ニ於テハ講堂、兒童控所、圖書器械標本室、湯沸所、小使室等ヲ設ケヘシ

屋内体操場ハ講堂及兒童控所ト兼用スルコトヲ得

六學級以上ノ學校ニ於テハ宿直室ヲ設ケヘシ

第二十五條 土地ノ狀況ニヨリ教員住宅ヲ設ケヘシ

第二十六條 教室ノ構造ハ左ノ標準ニ依リ學校ノ編制ニ適應セシメノコトヲ要ス

多級小學校ノ教室ハ幅三間乃至四間長四間乃至五間以下、單級小學校ノ教室ハ幅長各三間半以上、五間以下ヲ常例トス其ノ大サハ兒童一人ニ付三尺平方ヨリ小ナルヘカラス

天井ハ牀面ヲ距ルコト九尺以上トスヘシ

牀ノ高サハ二尺以上トシ牀下ノ四方ニ風抜ヲ設ケヘシ

採光窓ノ總面積ハ牀面積ノ六分ノ一以上トシ其ノ下縁ノ位置ハ牀上凡二尺五寸ニ定メ其ノ上縁ハ牀上八尺五寸以上ニシテ成ヘク天井ニ接近セシムヘシ但採光窓ノ上部ハ欄間ヲ以テ之ニ代ルコトヲ得

窓ハ兒童座席ノ前面及教臺ノ側面六尺以内ニ設ケヘカラス

教室内ノ壁ハ中性色(灰色又ハ淡黄色ノ類)トスヘシ

各教室内壁下凡二尺五寸乃至三尺ノ所ニハ腰板ヲ張ルヘシ

各教室ハ壁若ハ厚板ヲ以テ區劃スヘシ

各教室ニハ通常三箇ノ出入口ヲ設ケヘシ

第二十七條 廊下ハ片廊下ヲ以テ常例トシ其幅六尺以上ナルヘシ

二階造ノ校舎ニ於テハ二箇以上ノ階段ヲ設ケヘシ

階段ハ幅四尺五寸以上、蹴上ク五寸乃至六寸、踏面八寸乃至一尺トシ成ルヘク曲折構造

トシ中間ニ歸場ヲ設ケ且手欄ヲ附スヘシ  
 昇降口ハ成ルヘク男女ヲ區別シ常風ノ方向ヲ避クヘシ  
 第二十八條 便所ハ別棟トシ夏期常風ノ方向ニ注意シ校舍ヲ距ルコト二間以上、井ヲ距ルコト四間以上ノ位置ニ設クヘシ  
 糞壺、尿溝、注壁等ハ不透過物ヲ以テ之ヲ造ルヘシ便所ハ男女ヲ區別シ男兒百人ニ付大便所二箇以上小便所四箇以上、女兒百人ニ付五箇以上ノ割合ヲ以テ之ヲ設クルヲ常例トス但女兒ノ便所ニハ戸前ヲ附スヘシ  
 第二十九條 小學校ニ於テハ學校ノ規模ニ應ジ教授上、管理上必要ナル器具、器械、標本、圖書、諸表簿ノ類ヲ備フヘシ  
 第三十條 兒童用机及腰掛ノ寸法ハ第三號表ノ標準ニ依リ兒童ノ身長ニ適應セシメテ之ヲ要ス  
 第三十一條 規則第七十六條ニ依リ校舍ヲ新築、増築、改築シ若ハ市町村立高等小學校及私立小學校ノ校地ヲ選定シ又ハ變更セントスルニ當リ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具スヘシ但校地ノ選定又ハ變更ノ場合ハ第三號第五號ヲ要セス  
 一、校地近傍見取圖  
 所在地二町以内ニ於ケル近傍ノ關係ヲ表示スヘシ  
 二、校地實測圖  
 市町村大字、字、地番、地目、反別、地質、方位、廣表、高低、校舍敷地、体操場、井戸ノ位置ヲ記載スヘシ

三、各建物配置平面圖  
 各室ノ名稱、窓ノ位置并幅及高サ、出入口、廊下、井戸、便所ノ位置并構造、床并天井ノ高サ、二階造ノ校舍ニ就テハ階段ノ位置并高サ等ヲ記載スヘシ  
 四、校地又ハ建築ニ要スル金額  
 五、工事着手並竣工年月日  
 六、學齡兒童數(尋常小學校ニ限ル)及各學級男女別兒童數  
 將來増加スヘキ見込ノ兒童數ヲ附記スヘシ  
 第三十二條 校舍ノ建築竣工シタルトキハ市町村長、町村學校組合管理者又ハ設立者ニ於テ通牒ナク知事ニ届出ツヘシ  
 知事ニ於テ必要ト認メタルトキハ工事中又ハ工事竣工ノ後檢査ヲ行フコトアルヘシ  
 第三十三條 校舍ノ新築、増築、改築、又ハ非常事變ニ際シ一時民屋其ノ他ノ建物ヲ假用セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ  
 一、假用ノ期間  
 二、建物所屬ノ市町村名、大字、字、番地、所有者ノ住所氏名  
 三、第三十一條第一號、第三號第六號ノ事項  
 第三十四條 校舍、校地、校具及体操場ノ設備ニ關シ本章ノ規定ニ據リ難キ事情アルトキハ其ノ部分ニ就キ猶豫ノ期限ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ  
 第三十五條 分校場ノ設備ニ關シテハ本章ノ規定ヲ適用ス

第三十六條 補習科ノ設備ニ關シテハ本章ノ規定ヲ適用セス

第四章 就 學

第三十七條 市町村長ハ毎學年ノ始メニ於テ就學セシムヘキ兒童ノ入學期日ヲ其學校授業開始ノ日ト定メ其ノ年一月二十日迄ニ保護者ニ通知スヘシ但通知後ニ於テ其ノ市町村ニ來位シタル者アルトキハ適宜入學期日ヲ定メ遲滯ナク通知ノ手續ヲナスヘシ

第三十八條 毎年就學セシムヘキ兒童ノ保護者ニシテ規則第八十四條ニ依リ就學義務ノ免除又ハ就學ニ猶豫ナシ市町村長ニ申立タル期日ハ其ノ年二月十日マテトス

前項申立ノ期日以後ニ於テ就學義務ノ免除又ハ就學猶豫ノ事由ヲ生シタルトキハ其ノ都度遲滯ナク申立ノ手續ヲナスヘシ

第三十九條 市町村長ニ於テ前條ノ申立チ受ケタルトキハ實地ニ就キ之ヲ調査シ正當ト認メタル者ハ第四號表ニ依リ前條第壹項ノ場合ハ二月末日マテニ同第貳項ノ場合ハ其ノ都度監督官廳ニ稟申スヘシ

第四十條 學齡兒童保護者ニシテ令第三十六條第一項但書ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキ又ハ規則第八十八條ノ届出チナキトスルトキハ毎年二月十日マテニ其手續ヲナスヘシ

第四十一條 市町長ハ本則第三十七條ノ通知チナシタル兒童ノ住所、族籍、氏名、生年月日、戶主トノ續柄及保護者ノ氏名、住所、職業、兒童トノ關係并兒童ノ就學又ハ猶豫免除ノ事項ヲ二月五日限リ關係學校長ニ通知スヘシ爾後異動アリタルトキ亦同シ但兒童教育事務委託ノ市町村ニガテハ受托地ノ市町村長ヲ經由スヘシ

規則第八十八條ノ屬書ヲ受理セルトキ亦前項ニ同シ

第四十二條 市町村長ハ學齡兒童ニシテ本縣内ノ他市町村ニ轉住若ハ寄留スル者アルトキハ學齡簿寫チ其ノ市町村ニ送付スヘシ

第四十三條 規則第九十條ノ兒童出席簿ハ別ニ定ムル所ノ様式ニヨリ毎日記入統計スヘシ

第四十四條 市町村長及學務委員ハ其市町村立小學校ニ就キ時々兒童ノ就學又ハ出席ヲ點檢シ其ノ都度出席簿月日欄ニ檢印スヘシ

第四十五條 市町村長ハ規則第九十三條ニ依リ督促チナシタルトキハ其都度結果ヲ關係學校長ニ報告スヘシ

規則第九十四條ニ依リ監督官廳ノ督促アリタル後尙就學又ハ出席セシノサルトキハ市町村長ハ遲滯ナク監督官廳ニ報告スヘシ

第四十六條 市町村長及市町村立尋常小學校長ハ規則第九十二條ニ該當セサルモ出席不良ト認ムルトキハ規則第九十二條第九十三條ノ督促又ハ報告ヲナスヘシ

第四十七條 市町村長及市町村立尋常小學校長ハ別ニ定ムル所ノ様式ニ依リ就學又ハ出席督促ノ顛末ヲ記載シ置クヘシ

第四十八條 令第三十八條ニ依リ小學校長ニ於テ兒童ノ出席ヲ停止シタルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ監督官廳ニ報告スヘシ其ノ停止ヲ解キタルトキ亦同シ

第四十九條 兒童教育事務委託ノ場合ニ於ケル規則第九十一條第九十二條及第九十五條并本則第九十五條第一項及第四十六條ノ報告、受托校長ヨリハ其市町村長ヲ經由シ委託市

町村長ヨリハ受託市町村長ヲ經由スヘシ

第五十條 規則第八十八條ニヨリ當然入學セシムヘキ學校以外ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ノ就學又ハ出席ノ督促ニ關シテハ規則并本章ノ規定ヲ適用ス

第五十一條 本章ニ於テ市町村立尋常小學校トアルハ代用私立尋常小學校ヲ包含ス

第五章 教員檢定及免許狀

第五十二條 小學校教員試驗檢定施行ノ時日、場所、試験チナスヘキ種類、出願期日等ハ一ヶ月前ニ於テ之ヲ告示ス

第五十三條 檢定ヲ受クントスル者ハ願書(第四號書式)ニ履歷書(第五號書式)ヲ添ヘ所轄郡市役所ヲ經テ知事ニ差出ス

第五十四條 規則第八條第九條及第百十一條第百十二條ニ依リ加除スルコトヲ得ヘキ試験科目中女子ニ体操及體ノ二科目ヲ加ヘ其ノ他ノ科目ハ志望ニ依リ檢定ヲ行フ前項ニ依リ志望スル科目ハ願書ニ記載スヘシ

尋常小學校本科正教員ノ試験科目中漢文ヲ關キ數學ハ算術、歴史ハ日本歴史ニ限ルモノトス

第五十五條 無試験檢定志願者ニシテ志望ノ教員資格ニ合格セザルモ他ノ教員免許狀ヲ得ントスル者ハ出願ノ際第六號書式ノ願書ヲ差出スヘシ

第五十六條 小學校教員講習科及師範學校豫備科ヲ卒業シタル者ハ師範學校長ノ申請ニ依リ臨時檢定ノ上小學校教員免許狀ヲ授與ス此ノ場合ニ於テハ檢定手数料ヲ徴収セズ

第五十七條 小學校教員免許狀ハ第七號又ハ第八號書式ニ依ル

第五十八條 試験檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試験ニ合格セザルモ某科目ノ成績佳良ナルトキハ第九號書式ノ證明ヲ授與ス

第五十九條 檢定ヲ出願スル者又ハ免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ出願スル者ハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ但既ニ納メタル手数料ハ何等ノ事情アルモ還付セズ

- 一 本科正教員 金壹圓
- 一 准教員及專科正教員 金五拾錢
- 一 免許狀ノ書換若ハ再渡 金參拾錢

第六章 職 員

第一節 學校長及教員ノ進退

第六十條 郡市長ニ於テ市町村立小學校長及教員ノ任用ヲ申請セントスルトキハ其ノ職名(本科專科尋常高等勤務ノ區別)併給額ヲ具シ履歷書(第五號書式)ヲ添付スヘシ但轉任復職ノ場合ハ現職名俸給額ノミヲ具申シ履歷書ヲ要セズ

轉任ノ場合ニ於テ他郡市ニシテハ關係郡市長ノ連署若ハ承諾書ノ添付ヲ要ス

第六十一條 市町村立小學校教員俸給ノ増減ハ郡市長之ヲ具申スヘシ

第六十二條 前二條ノ場合ニ於テ教員ノ俸給額明治三十年敕令第二號第一條ノ義務額ヲ超過スルトキハ市町村、町村學校組合及其ノ區(區ニ區會若ハ區議會ノ設ケアル場合ニ限ル)ノ同意ヲ得タルモノナルヘシ



規則第三十五條第三項第二十六條及第三十七條ノ降給額ニ關シテハ市參事會、町村長ノ意見書ヲ添付スヘシ但市參事會、町村長ニ於テ異議ナキ場合若クハ一旦定マリタル降給額以內ニ於テ申請スル場合ハ此ノ限ニアラス

第六十三條 市町村立小學校正教員ニシテ規則第二百二十二條第百二十六條ニ規定セル各號ノ一及第百二十七條ニ該當スル者アルトキハ郡市長ハ其ノ休職若ハ退職ヲ知事ニ具申スヘシ但規則第二百二十二條第一號第百二十六條第一號第二號前段及第百二十七條ノ場合ニ於テ其ノ事由、疾病ニ因ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

市町村立小學校准教員ノ退職ニ關シテハ規則第百二十六條ヲ準用ス

第六十四條 郡市長ニ於テ市町村立小學校准教員ニ退職ヲ命スヘキ必要アリト認メタルトキハ具申スヘシ

第六十五條 市町立小學校准教員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職者トス

- 一、陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキ
- 二、當該學校ノ廢セラレタルトキ

第六十六條 市町村立小學校教員ハ在職ノマ、小學校教員講習科ニ入學セシム

第六十七條 市町村立小學校教員ニシテ休職滿期ノトキ及陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキ并其ノ事故止ミタルトキハ郡市長ハ遲滞ナク報告スヘシ

第六十八條 規則第百三十二條ニ依リ私立小學校設立者ニ於テ學校長及教員ノ採用ヲ届出ツル場合ニハ其俸給額ヲ記シ履歷書(第五號書式)添付スヘシ

### 第二節 學校長及教員ノ職務及服務

第六十九條 學校長ハ左ノ事項ニ關シ規程ヲ設クルコトヲ得

一、事務分掌ニ關スル事項

二、教授訓練及管理ニ關スル事項

三、兒童賞罰ニ關スル事項

四、學校衛生ニ關スル事項

五、宿直ニ關スル事項

六、其ノ他校務整理上必要ナル事項

前項ノ規程ヲ設ケ又ハ變更シタルトキハ遲滞ナク監督官廳ニ届出ツヘシ

第七十條 學校長關員若ハ不在ノトキハ上席教員其職務ヲ代理スヘシ

第七十一條 御影ヲ拜載シ又ハ複製ノ御影ヲ奉藏セル學校及六學校以上ノ學校ニ於テハ男教員宿直ヲナスヘシ

第七十二條 學校長及教員ニシテ規則第百三十七條但書ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ豫メ期限ヲ付ス

第七十三條 學校長公務ニ因リ又ハ教育會へ出席スル爲メ旅行セントスルトキ又ハ所屬教員ヲ出張モシメントスルトキハ郡市長ノ指揮ヲ受クヘシ但二日以内ノ旅行ニ就テハ豫メ郡市長ニ届出ツヘシ

兒童修學ノ爲メ管外又ハ宿泊ヲ要スル旅行ヲナサントスルトキハ學校長ニ於テ該メ目的、行先、出發日、日數、教員氏名及引率スヘキ兒童ノ學級并其ノ人員ヲ具シ監督官廳ノ指揮ヲ受ケル

前二項ノ場合ニ於テハ豫メ管理者ニ協議スルヲ要ス

第七十四條 學校長及教員新任轉任ノトキハ辭令書受領ノ日ヨリ七日以内ニ赴任シ郡市長ニ届出ツヘシ

前項ノ期日内ニ着任スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ監督官廳ノ認可ヲ受ケヘシ  
第七十五條 學校長及教員ニシテ轉任、休職、退職ノトキハ左ノ手續ニ依リ事務ノ引繼ヲナスヘシ

- 一、學校長ニアリテハ文書、校具及其目錄并重要ナル事項ノ演述書ヲ作りテ後任者又ハ  
上席教員ニ引繼クヘシ但他ノ教員ナキカ又ハ後任者ナキトキハ管理者ニ引繼クヘシ
- 二、教員ニ在リテハ其保管ノ文書、校具及重要ナル事項ヲ口頭又ハ演述書ヲ以テ學校長  
ニ引繼クヘシ

前項第一號第二號ノ手續ヲ了シタルトキハ雙方連署ヲ以テ監督官廳ニ届出ツヘシ

第七十六條 學校長及教員族籍、原籍地、氏名ノ變更其ノ他身分ニ異動ヲ生シタルトキハ  
遲滞ナク知事ニ届出ツヘシ

教員ニシテ死亡スルトキハ學校長ニ於テ遲滞ナク知事ニ届出ツヘシ但單級學校教員ノ死  
亡ハ管理者ニ於テ其手續ヲナスヘシ

第七十七條 學校長及教員父母ノ祭日ニ於テ勤務ヲ缺キ又ハ忌引ヲナストキハ郡市長ニ届  
出ツヘシ

忌引ニ就テハ特別ノ命令アルノ外左ノ日限ヲ以テ除服ヲ命シタルモノトス  
一、父母、祖父母、夫妻ハ七日間

二、兄弟、姉妹、子ハ三日間

郡市長ハ前項ノ期日内ト雖モ必要アルトキハ除服ヲ命スルコトヲ得

第七十八條 學校長及教員ハ始業時刻前ニ登校シ直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ

第七十九條 學校長及教員疾病ニ因リ缺勤セントスルトキハ郡市長ニ届出ツヘシ但缺  
勤七日ヲ超ユルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付シ爾后七日毎ニ同一ノ手續ヲナスヘシ

第八十條 學校長及教員私事ノ故障ニ因テ缺勤セントスルトキ又ハ住地ヲ離レントスルト  
キハ其ノ事實ヲ具シ郡市長ノ認可ヲ受クヘシ但任地ヲ離レントスルトキニハ其行先及日

限ヲ記載スヘシ  
父母ノ病氣看護又ハ轉地療養ノ爲メ前項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添  
付スヘシ但事急遽ニ出テ、認可ヲ得ル暇ナキトキハ其旨ヲ届出テ事後ニ於テ承諾ヲ受ク  
ルコトヲ得

第八十一條 學校長及教員ニシテ學校休業中ニ於テ五日以上ノ旅行ヲナサントスルトキハ  
行先及日限ヲ示シ郡市長ニ届出ツヘシ

第八十二條 學校長及教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ豫メ知事ノ許可ヲ受クヘシ  
一、文部省又ハ他ノ道府縣ニ教員檢定ヲ出願セントスルトキ  
二、教員養成ナ目的トスル學校又ハ其ノ他ノ學校ニ入學ヲ志願セントスルトキ  
三、官吏任用試験ヲ出願セントスルトキ

四、海外旅行券ノ下付ヲ出願セントスルトキ

第八十三條 休職者ハ現任地ヲ監督官廳ニ届出ツヘレ  
 第八十四條 學校長及教員ヨリ官廳ニ差出スヘキ書面ハ管理者ヲ經由シ教員ヨリスルモノ  
 ハ尙學校長ヲ經由スヘレ

第八十五條 本節ニ於テ學校長、教員トアルハ市町村立小學校長及教員ヲ謂フ

第三節 俸給旅費及諸給與

第八十六條 教員ノ俸給額ハ左ノ等級表ニ依ル

職名	本科正教員		專科正教員	
	上	下	上	下
一級	七十圓	六十五圓	四十圓	三十五圓
二級	六十圓	五十五圓	三十五圓	三十圓
三級	五十圓	四十五圓	二十五圓	二十圓
四級	四十圓	三十五圓	二十圓	十五圓
五級	三十圓	二十七圓	十五圓	十圓
六級	二十四圓	二十二圓	十二圓	八圓
七級	二十圓	十八圓	十圓	六圓
八級	十六圓	十四圓	八圓	六圓
九級	十三圓	十二圓	六圓	
十級	十一圓	十圓		

准教員

上	下
二十圓	十八圓
十六圓	十四圓
十三圓	十二圓
十一圓	十圓
九圓	八圓
七圓	六圓

第八十七條 本科正教員ニシテ一級上俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ハ漸次百圓マテ増給スルコトアルヘレ

第八十八條 專科正教員ノ俸給ハ其ノ教授時數ニ應シ等級相當ノ俸給額ヲ減スルコトアルヘレ

第八十九條 專科正教員ニシテ他ノ小學校ノ專科正教員ヲ兼スル者ニハ關係學校ノ經費ヨリ其ノ俸給ヲ分割シテ給スルコトアルヘレ

第九十條 教員ノ俸給ハ其意ニ反シテ之ヲ減スルコトナレ

第九十一條 休職者ニハ俸給ヲ給セス但戰時若ハ時變ニ際シ召集セラレタルカ爲休職トナリタルトキ及其ノ他特別ノ事情アルトキハ市町村、町村學校組合又ハ區(區ニ區會若ハ區總會ノ設ケアル場合ニ限ル)ノ同意ヲ得其ノ幾分ヲ給スルコトアルヘレ

第九十二條 准教員ニシテ在職ノマ、小學校教員講習料ニ入學スル者ニハ前條ノ規定ヲ準用ス

第九十三條 教員ニシテ陸軍給與令又ハ海軍々人俸給令ニ依リ俸給ヲ受クル者ニハ其ノ間俸給ヲ給セス但其ノ額本職ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ本職俸給三分ノ二ニ對スル不足

額ヲ給スヘシ

第九十四條 教員左ノ各號ノ一ニ該當スレトキハ當月分ク俸給ハ日割ヲ以テ給スヘシ

一、懲戒ニ因リ免職ニ處セラレタルトキ

二、免許狀觀察又ハ免許狀ノ失効ニ因リ教員ノ職ヲ失ヒタルトキ

第九十五條 教員死亡シタルトキハ其ノ在職中ト休職中トニ拘ハラズ在職最終ノ俸給月額三ヶ月分ヲ其ノ遺族ニ給スヘシ

第九十六條 教員ニシテ傷寒疾病ノ爲メ勤務ヲ缺クコト六十日ヲ踰ユルトキ又ハ私事ノ故障ニ因リ勤務ヲ缺クコト三十日ヲ踰ユルトキハ其ノ翌日ヨリ俸給ノ半額ヲ減ス但職務ニ基因シタル傷寒疾病又ハ思引ノ者ハ此ノ限ニアラス

第九十七條 俸給ハ新任、復職、増俸、減俸トモ浸令ノ翌日ヨリ計算ス

第九十八條 轉任者ノ俸給ハ其ノ發令ノ當日マテハ前任ノ學校ニ於テ其ノ翌日以後ハ新任ノ學校ニ於テ各日割ヲ以テ當月分ヲ給スヘシ

第九十九條 休職、退職、廢職及死亡ノトキハ當月分ノ俸給全額ヲ給スヘシ

第一百條 俸給支給ノ定日ハ毎月二十一日トシ休日ニ當ルトキハ順次繰下クルモノトス但支給定日以前ニ於テ第九十五條第九十九條ニ該當シタル者及他ノ轉任シタル者又ハ支給定日以後ニ於テ新任、増俸及他ヨリ轉任シタル者アルトキハ其ノ照給スヘシ

支給定日以後ニ於テ第九十四條ニ該當シタル者及他ノ轉任シタル者又ハ減俸シタル者アルトキハ過渡ノ俸給ハ其ノ際之ヲ追徴スヘシ

野縣第四百十三號 明治三十八年三月六日 第三種郵便物認可 一一一

第一百一條 休職ヲ命セラレタル者其ノ月中ニ復職スルトキハ復職後ノ俸給ヲ給セス但前後ノ俸給額ニ異動アルトキハ増俸減俸ノ例ニヨリ日割ヲ屬テ増俸ハ追給シ減俸ハ追徴スヘシ

休職ヲ命セラレタル者其ノ月中ニ轉任シ又ハ他ノ官職ニ任セラレタルトキハ轉任ノ例ニ依リ其ノ發令翌日以後ニ屬スル俸給ヲ追徴スヘシ

第一百二條 休職、退職、廢職ノ者事務引繼又ハ殘務整理ノ爲メ特ニ命テ受ケ校務ニ從事セタル者ハ日割ヲ以テ從前ノ俸給ヲ給ス但當月分ノ俸給全額ヲ給シタル者ハ此ノ限ニアラス

第一百三條 俸給ヲ給スルニ當リ計算上原位未滿ノ額數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨クルモノトス

且計算ノ法ハ俸給額ニ給スヘキ日數ヲ乘シ其ノ月ノ日數ニテ除スルモノトス

第一百四條 教員ノ旅費ハ左表ニ依ル

資格	種別	車賃		船賃		馬賃		當		泊料	
		一哩ニ付	一海里ニ付	一里ニ付	一日ニ付	一日ニ付	一泊ニ付				
正教員	縣内	四錢	四錢	十二錢	三十錢	六十錢					
	縣外	四錢	四錢	十五錢	四十錢	八十錢					

准教員	縣内		縣外	
	三 錢	三 錢	三 錢	十 錢
	八 錢	二十五 錢	三十 錢	六十 錢

講習會ニ出席スル場合ハ前項ノ半額、修學旅行ノ場合ハ前項ニ依ラス日當トシテ一日金三十錢ヲ給シ派車賃派船賃馬賃ハ實費ヲ給ス

第百五條 旅費支給ノ方法ハ内國旅費規則ノ規定ニ依ル

第百六條 教員コシテ一週三十時ヲ越エ教授ヲ担任スル者ニハ手當ヲ給スヘシ

手當金支給ノ方法ハ俸給ノ例ニ依ル

第百七條 學校長又ハ教員コシテ特ニ勤勞アル者ニハ慰勞金ヲ給スルコトアリヘシ

第百八條 前二條ニ依リ給スル金額ハ郡市長ノ具申ニ依リ知事之ヲ決定ス

郡長ハ前項ノ金額ニ就テハ豫メ管理者ノ意見書ヲ徴シ其ノ異議アルモノニ限り之ヲ添付スヘシ

第百九條 教員ニシテ宿直スル者ニハ賄料ヲ給スヘシ

第百十條 學校長又ハ教員ニシテ職務ノ爲傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者ニハ療治料ヲ給スヘシ

第百十一條 教員住宅ノ設ケナキ學校ニ於テハ成ルヘク住宅料ヲ給スヘシ

第百十二條 前三條ニ依リ給スル金額及其ノ支給方法ハ管理者ニ於テ之ヲ定メ監督官廳ニ

縣報第四百十三號 明治三十八年三月六日 第三種郵便物認可 一三

届出ツヘシ

第百十三條 本章ニ於テ學校長、教員トアルハ市町村立小學校長及教員ヲ指フ

第四節 代用教員

第百十四條 小學校代用教員ハ左ノ資格ヲ有スル者タルヘシ

- 一、修業年限四ヶ年ノ高等小學校ヲ卒業シ若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有シテ教授法ノ大意ニ通スル者
- 二、身體健全品行方正ニシテ將來小學校教員トラントスル志望確實ナル者
- 三、規則第百四條ノ各號ニ低額セザル者

第百十五條 市町村立小學校事務教員コシテ郡市長ニ於テ適當ト認ムルトキハ當該學校ノ代用教員ヲ兼務セシムルコトヲ得但此ノ場合ニ於テハ知事ニ報告スヘシ

第百十六條 規則第百七十條ニ依リ郡市長又ハ設立者ニ於テ代用教員ノ採用ヲ報告スル場合ハ學校名、俸給額及其ノ等級並現任教員ノ資格人員ヲ具シ履歷書(第五號書式)ヲ添付スヘシ

第百十七條 市町村立小學校代用教員ノ俸給ハ四圓以上二十圓以下トス但受持時數ニ因リ最低額以下ニ減スルコトヲ得

第百十八條 市町村立小學校代用教員ノ職務及服務并俸給、旅費、其ノ他諸給與ニ關シテハ本章第二節第三節中流教員ニ關スル規程ニ依ル

第七章 授業料

第百十九條 規則第百七十四條及第百七十五條ニ依リ授業料ニ關シ認可ヲ受ケントスルトキハ尋常小學校ニアリテハ左ノ第一號乃至第三號、高等小學校ニアリテハ第一號ノ事項ヲ具ス。

- 一、授業料額及其ノ徴收ニ關スル規程
- 二、授業料徴收ノ期間
- 三、當該年度歳入豫算表

第百二十條 規則第百七十七條ニ依リ小學校補習科ノ授業料額ヲ定メタルトキハ其ノ額及徴收ニ關スル規程ヲ監督官廳ニ届出ツヘシ

第百二十一條 授業料徴收ニ關スル規程ニハ左ノ事項ヲ掲クヘシ  
一、徴收ノ期日及其手續

二、授業料ノ免除及増減ニ關スル事項  
第百二十二條 児童出席停止及ハ學校ノ休業全月ニ及フトキ若ハ児童正當ノ事由ニ因リ欠席全一ヶ月ニ及フトキハ其ノ月ノ授業料ヲ徴收スルコトヲ得ス

第百二十三條 授業料ハ毎月之ヲ徴收スヘシ

第八章 私立小學校及幼稚園  
第百二十四條 令第六十六條及第十七條ニ依リ私立小學校及幼稚園官廳學校其他小學校ニ類スル各種學校設置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ管理者又ハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具スヘシ

一、名 稱

二、位 置

三、學則又ハ圖則

四、児童又ハ幼児定員

五、校地、校舎及運動場又ハ敷地、建物及遊園ノ圖面(圖面ニハ坪數、方數、所有者及四隣ノ狀況ヲ記スヘシ)

六、當該年度歳入支出豫算表

七、職員數及俸給額ノ豫定

八、基本財産ノ有無及其ノ種別員數

九、將來維持ノ方法(私立ニ限ル)

十、設立ノ履歷(私立ニ限ル)

十一、開校又ハ開園ノ期日

前項第二號第三號及第五號ノ變更ハ知事ノ認可ヲ受ケテ第一號第四號第九號ノ變更ハ知事ニ届出ツヘシ

第百二十五條 學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一、修業年限、學年、學期、休業日ニ關スル事項
- 二、教科目、教授ノ程度及毎週教授時數ニ關スル事項
- 三、入退學ニ關スル事項







第四百十三號 明治三十八年三月六日 第三種郵便物認可

何尋常高等 (高等)小學校													
第三學級 高等單級				第二學級 尋常第三學年 尋常第四學年				第一學級 尋常第一學年 第二學年			第三學級 補習科 第四學年		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
正教員 一人				正教員 一人				正教員 一人			正教員 一人		

合 計									
高等		同補習何學級		尋常何學級		何		何	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
補助正(准)教員何人		專科正教員何人		正教員何人		准教員何人		補助正(准)教員一人 何專科正教員一人	

學齡兒童總數

男何人 女何人  
內 男何人 女何人

何々市町村へ委託シタル  
學齡兒童數

内 譯

尋常小學校卒業兒童數 男何人  
 女何人

同在學兒童數 男何人  
 女何人

就學義務免除兒童數 男何人  
 女何人

就學猶豫兒童數 男何人  
 女何人

外

何市町村ヨリノ入學者 男何人  
 女何人

右及御届候也

知 事 宛 年 月 日 市町村長(私立學校ハ設立者) 名 印

備 考

一、市町村立高等小學校及私立小學校ニ於テハ學齡兒童總數以下ヲ記スルヲ要セス

第三號表

近目	番號	身長	机ノ高さ	机ノ幅	机ノ長 (二人掛)	腰掛ノ高	腰掛ノ幅	腰掛ノ長 (二人掛)
一	號	一〇〇以上 (三三、〇〇以上未滿)	一五、五〇	一一、〇〇	三〇、〇〇乃至 三六、〇〇	八、六〇	八、二〇	二六、〇〇乃至 三二、〇〇
二	號	一一〇以上 (三六、〇〇以上未滿)	一七、〇〇	〃	〃	九、四〇	九、〇〇	〃
三	號	一二〇以上 (三九、六〇以上未滿)	一八、五〇	〃	三六、〇〇	一〇、二〇	九、八〇	三二、〇〇
四	號	一三〇以上 (四二、九〇以上未滿)	二〇、〇〇	〃	〃	一一、〇〇	一〇、六〇	〃
五	號	一四〇以上 (四六、二〇以上未滿)	二一、五〇	〃	〃	一一、八〇	一一、四〇	〃

倚	五、〇〇	五、四〇	五、八〇	六、二〇	六、六〇
橫木ノ高	五、〇〇	五、四〇	五、八〇	六、二〇	六、六〇

木衣中身長欄ハ「センチメートル」其ノ括弧内ノ數及机ノ高以下ハ曲尺一才ヲ以テ一位トス

第四號表

何市町村學齡兒童就學義務免除及留置者調査表

兒童氏名	生年月日	兒童從前ノ教育	保護者住所氏名	縣稅戶數割負担等級	縣稅戶數割負担額	免除又ハ留置事故

郡 尾 第 四 百 十 三 號  
 明治三十八年三月六日  
 第三種郵便物認可  
 一九

學齡兒童總數	男 何人	女 何人
內	男 何人	女 何人
尋常小學校卒業者	男 何人	女 何人
全 在學者	男 何人	女 何人
前年就學義務免除者	男 何人	女 何人
就學留置者	男 何人	女 何人
計	男 何人	女 何人
免除 留置	男 何人	女 何人

就學歩合  
 男 何人  
 女 何人

說明

備考 市町村縣稅戶數割賦課等級末等ヲ記載スヘシ

一、住所ハ市ニアリテハ町名、町村ニアリテハ字名ヲ記スヘシ

一、縣稅戶數割負擔歩合及額ハ當該年度ニ係ル保護者(戶主ニアラサルトキハ戶主)ノ負擔ヲ記スヘシ

一、免除又ハ猶豫ノ事故ハ令第三十三條ニ掲ケル事由ヲ記入スヘシ

一、學齡兒童總數ハ次學年四月一日ニ於テ滿六歳ニ達スル者ヨリ滿十四歳迄ノ兒童ニシテ本籍者及入寄留者ノ總數ヲ計記スヘシ

一、尋常小學校卒業者ハ前項ノ兒童中尋常小學校ノ教科ヲ卒業シタル者ノ總數ヲ計記スヘシ

一、在學者ハ現ニ尋常小學ニ就學シ猶次學年ニ於テモ就學スヘキ者及次學年ニ於テ新ニ就學スヘキ者ノ總數並令第三十六條第一項但書又ハ規則第八十八條ノ規定ニ依リ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童數ヲ計記スヘシ

一、前年就學義務免除者ハ學齡兒童中既ニ就學義務ノ免除ヲ許可セラレタル者ノ數ヲ計記スヘシ

一、就學義務免除及猶豫者ハ次學年ニ於テ免除又ハ猶豫セントスル者ノ數ヲ計記スヘシ

第一號書式

縣報第四百十三號

明治三十八年三月六日

第三種郵便物認可

二〇

番 號

卒 業 證 書

族 籍

氏 名

生 年 月 日



尋常小學校(高等小學校)ノ教科ヲ卒業セシメトテ證書  
修業年限 何ケ年

年 月 日

縣郡(市)(私立)尋常(高等)(尋常高等)小學校長 氏 名

第二號書式

修 業 證 書

族 籍

氏 名

生 年 月 日

尋常小學校（高等小學校）修業年限（第何學年ノ課程ヲ修了セシコトヲ證ス）  
何々年

年 月 日

縣郡（市）（私立）何尋常（高等）（尋常高等）小學校長 氏 名

第三號書式

學習證書

族 籍

氏 名

生 年 月 日



尋常小學校（高等小學校）修業年限（第何次學年間ノ課程ヲ學習セシコトヲ證ス）  
何々年

年 月 日

縣郡（市）（私立）何尋常（高等）（尋常高等）小學校長 氏 名

第四號書式（用紙半紙）

小學校教員檢定願

私儀和歌山縣内ニ於テ小學校（尋常小學校）本科正（准）教員（小學校專科側々科正教員）志願ニ保請試験檢定（無試験檢定）相受度別紙履歷書添付此段相願候也  
（但何々科ヲ加ヘ何所ニテ檢定相受度候）

何府縣何郡（市）何町（村）大字何々番地居住

何府縣華士族平民戶主（何誰何男）（女）等

氏 名

年 月 日

和歌山縣知事宛

前書何ノ誰小學校令施行規則第四百四條第一號乃至第四號ニ該當スル者ニ無之依テ證明候也

年 月 日

何府縣郡町村々長（又ハ市長） 氏 名

第五號書式（用紙半紙）

履 歴 書

族 籍

現在ノ職務及俸給又ハ職業等

氏

名

生 年 月 日

免許狀及證書

一、何々免許狀(何年何月何日受領、何府縣又ハ何々)

一、何々卒業證書(何學校又ハ何々)

一、何々證書(全上)

(免許狀及證書寫ハ別紙ニ記スヘシ)

學 業

一、年月日何學校ニ入學、年月日何科卒業

一、年月日何々ニ就キ何科修業又ハ講習シ年月日修了

業 務

一、年月日何府縣内小學校訓導ニ任セラレ月俸何圓給與セラレ

一、年月日月俸何圓給與

一、年月日何官職拜命或ハ何業ニ従事シ年月日依願免官又ハ退職或ハ廢業又ハ現在職從事等合計小學校訓導(准訓導)ノ職ニアルコト何年何ヶ月何々ノ職ニアルコト何年何

ケ月

賞 付

一、年月日何所ニ於テ何々ノ康ニ依リ何々ノ賞與

一、年月日何所ニ於テ何々ノ康ニ依リ何々ノ野ヲ受テ

右之通相違無之候也

年 月 日

右

氏

名

第六號書式(用紙半紙)

副 願

私儀今般小學校本(專)科(尋常小學校本科)正教員無試験檢定出願候處檢定ノ上右資格

ニ對スル免許狀御下付不相成節ハ御再査ノ上相當免許狀御下付相成度此段副願候也

年 月 日

氏

名

和歌山縣知事宛

御範學校卒業生ニ與フルモノ

第七號書式

小學校教員免許狀

(某)師範學校卒業

族 籍

氏 名

生 年 月

右ハ和歌山縣管内ニ於テ小學校(尋小學校)本科正教員タルコトヲ免許ス

年 印 月 日

知事 位階爵 氏 名 印

檢定ヲヨリ與フルモノ  
第八號書式

小學校教員免許狀

族 籍

氏 名

生 年 月

右ハ檢定ノ上和歌山縣管内ニ於テ小學校(尋常小學校)本(專)科正(准)教員タルヲ免許ス

年 印 月 日

知事 位階爵 氏 名 印

第九號書式

證 明 書

族 籍

氏 名

生 年 月

右ハ何年何月施行シタル小學校(尋常小學校)本(專)正(准)教員試驗檢定ニ於テ頭書ノ科  
目成績住良ナルコトヲ證明ス

年 月 日

和歌山縣

番 號

○和歌山縣訓令甲第十一號

郡 役 所  
市 役 所  
町 村 役 場  
市町村立小學校

第一條 市町村立小學校長ハ毎月児童ノ出席缺席ヲ調査シ別記表式ニ依リ翌月三日限リ監督官廳ニ報告スヘシ、但此場合ニ於テハ管理者ヲ經由スルヲ要ス  
 第二條 郡長ニ於テ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ児童ノ出席缺席並ニ缺席督責ノ狀況ヲ調査シ町村立小學校長及町村長ヲシテ小學校令施行規則及同施行細則中就學及缺席ニ關スル規定ヲ履行セシムヘシ  
 第三條 郡長ハ毎年三月、四月、七月、十二月末郡内小學校児童出席缺席ヲ調査シ別記表式ニ準シ其翌月十五日限リ知事ニ報告スヘシ

附 則

第四條 本令ハ明治三十八年四月一日ヨリ施行ス  
 明治 年 月 日 月兒童出席缺席調査表 每月末日現在調

科 別	在籍兒童數	出席兒童數	缺席兒童數	在籍百ニ對スル日々出席數	在籍百ニ對スル日々缺席數
-----	-------	-------	-------	--------------	--------------

縣報第四百十三號 明治三十八年三月六日 第三種郵便物認可 一四

尋常科					
高等科					
補習科					
計					

備考  
 右及報告候也  
 年 月 日  
 市町村立小學校長 氏 名 印

知 事(郡長)宛  
 說明 一、備考欄ニハ各缺席兒童缺席ノ事由及之ニ對スル督責ノ顛末並小學校令施行規則第九十一條第九十二條ニ依リ報告後ノ狀況ヲ記載スヘシ  
 二、前月ヨリ引續キ缺席スル者ノ數ハ朱記シテ區別スヘシ  
 明治三十八年二月二十八日 和歌山縣知事 伯耆 清 兼 家 敬



○和歌山縣訓令甲第十二號

郡 役 所

市 役 所

町 村 役 場

市 町 村 立 小 學 校

明治三十四年六月和歌山縣訓令甲第三十七號及明治三十五年十二月和歌山縣訓令甲第七十七號ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

明治三十八年三月四日

和歌山縣知事

伯爵 清 棲 家 敷

(參照)

明治三十四年六月訓令甲第三十七號ハ兒童成績考查規程ノ件明治三十五年訓令甲第七十七號ハ專科教員ヲシテ代用教員兼務ノ件ナリ

○和歌山縣告示第五十一號

商業會議所議員選舉規則第十九條ニ依リ和歌山商業會議所議員ノ選舉ヲ行フヘキ日時及場所ヲ左ノ通り相定ム

明治三十八年三月三日

和歌山縣知事

伯爵

清藤家 敬

一、選舉ヲ行フヘキ日時

明治三十八年三月廿五日

自午前八時

至午後四時

一、選舉ヲ行フヘキ場所

和歌山市會議場

一、選舉スヘキ議員ノ員數

定期改選ニ依ルモノ

拾五名

補選ニ依ルモノ

二名

○觀 測

明治三十八年三月一日ヨリ三日間當地氣象概況

月 日	三月一日	三月二日	三月三日
種 類	前年	本年	前年

縣報第四百十三號

明治三十八年三月六日

第三種郵便物認可

二六

平均氣壓	七六二耗六	七六五耗一	七五七耗二	七七二耗四	七六六耗一	七六七耗五
平均氣溫	八度二	四度五	九度四	四度一	六度七	六度九
最高氣溫	一四度一	七度六	一四度〇	八度四	一一度〇	一三度八
最低氣溫	二度〇	〇度七	六度三	三度点下〇度二	二度三	三度点下〇度五
最多風向	北東	北	北	北	北々東	東北東
平均風力	二米北	三米六	三米七	二米六	四米五	二米四
天 氣	晴	半晴	雨後曇	半晴	晴	曇少雨
雨 量	一	一	三耗五	一	一	一耗五
記事現象	午前月暈 及結霜午 后月環現 夕刻海上	午前中降 雨斷續 夕刻海上 風雨ノ聲	午前中降 雨斷續 夕刻海上 風雨ノ聲	午前結霜 午后日暈 現ル	午前月暈 及月環現	午前月暈 及月環現
	夕刻海上	報ヲ解除	報ヲ解除	海上風雨 ノ警報到		

可寫物便郵種三第日八月五年三十三治明

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十八年三月五日印刷  
明治三十八年三月六日發行

〔金澤新聞〕

和歌山縣

和歌山市久保町一丁目一番地  
和歌山市久保町二丁目二十四番地  
和歌山市大塚  
和歌山市大塚  
和歌山市大塚

縣報第四百十三號

明治三十八年三月六日

第三種郵便物認可

二七終

風雨ノ警  
報到着

ス  
午後月暈  
現ル

着夕刻ヨ  
リ降雨ス